



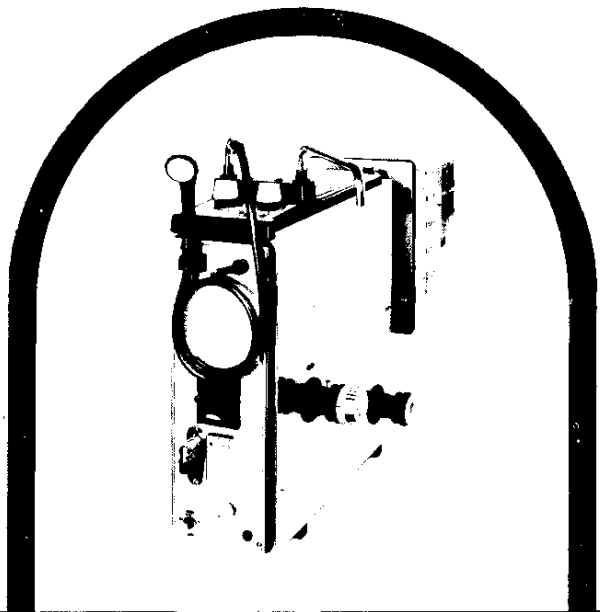
大阪ガス

ガスバランス型外だき釜

取扱説明書 31-870-871型 31-872-873型

保証書付

型式名 GBSQ-600



ガスゴム管も
ときどき点検
よいゴム管を
カッチリと



ガス器具を
お使いになった
あとは必ず
もとせしも閉
める習慣を



お風呂の空だき
水もれ、沸かしすぎ
にご注意



ガス器具は
ガスの種類にあった
正しいものを

●ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。

ごあいさつ

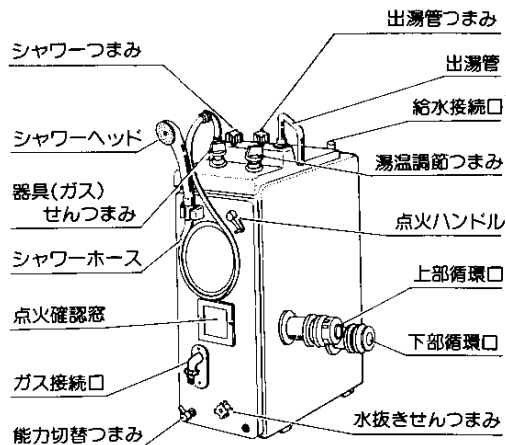
このたびは、大阪ガスのガスバランス型外だき釜をお求めいただき、ありがとうございますました。

別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保管してください。

もくじ

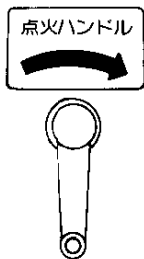
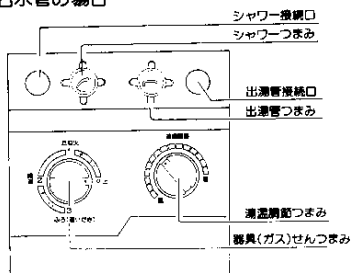
- 各部の名称.....2
- 特に注意していただきたいこと.....3
- 使用手順.....8
- 使用時のご注意.....14
- 日常の点検・手入れ.....16
- 故障・異常の見分け方と処置方法.....17
- 長期間使用しない場合.....18
- アフターサービスのお申し込み.....19
- 特長.....20
- 寸法図と仕様一覧表.....21
- 本製品と快適なくらしのために.....22

各部の名称



● 操作部の名称

● 右水管の場合



- ※1. 左におそうががある時(左水管の場合)はシャワーと出湯管つまみの位置は反対になります。
- ※2. シャワーと出湯管の接続は標準にきて、位置の変更ができますので、シャワーつまみと出湯管つまみもそれに合わせて、位置を換えてください。つまみは向きを変えるだけで交換できます。

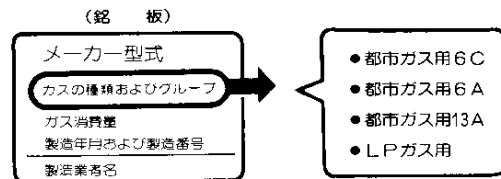
特に注意していただきたいこと

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

使用ガスについてのご注意

- ガスの種類を確かめてください。

ガス器具本体の正面にはつてある銘板(ラベル)に表示のガスの種類とお宅のガスが一致しているかをまず確かめてください。

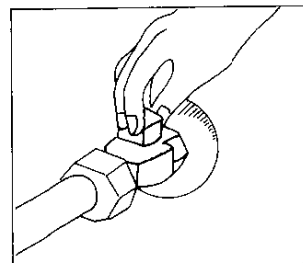


- ガスの種類には都市ガスとL.Pガスとがあり、都市ガスにはガスグループの区分があります。
- 転宅されたときにも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。

使用上のご注意

ガス漏れ予防

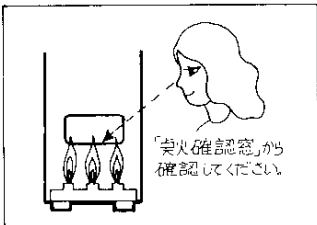
- 器具をご使用にならないときや外出前、またおやすみ前には万一の事故がないように、必ず元せんをしめてください。
- 使用後は必ず器具せんを閉じ、消火したことを確かめてください。



特に注意していただきたいこと②

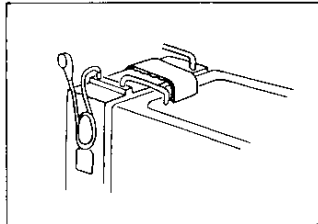
使用上のご注意

- 使用中には時どき正常に燃焼していることを確かめてください。

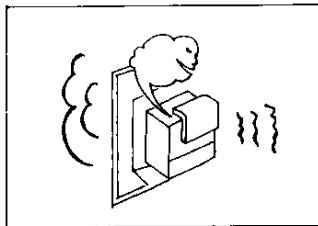


火災予防

- 器具の上やそばに燃えやすいもの(紙、揮発油など)を絶対においたり近づけたりしないようにしてください。
- 器具の上には絶対物を置かないください。
- 使用後は必ず器具せんを閉じ、消火したことを確かめてください。
お出かけやおやすみの際にはガスの元せんを必ず閉じてください。



- 給排気部の上にタオル、ふきんなどをのせないでください。
不完全燃焼や異常過熱の原因になります。
- 火をつけたまま就寝、外出は絶対しないでください。



特に注意していただきたいこと③

使用上のご注意

過熱防止

- 浴そうに水が入っていることを確かめてから点火してください。

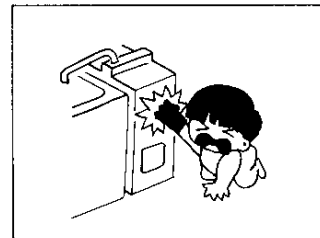


- 浴そうの循環口はタオルなどでふさがなくてください。



過熱防止

- ご使用中および使用直後は、器具本体とその周辺は熱くなりますので、手を触れたりしないでください。特に小さなお子様がいるご家庭はご注意ください。

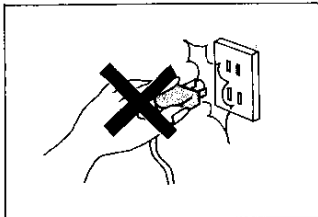


●ガス漏れ

- ガス漏れに気づいたときは、すぐ使用をやめてガス元せんを閉じ、大阪ガス支社または大阪ガスサービスショップに連絡してください。

〈ご注意〉

万一ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたり換気扇その他電気器具にふれたりしないでください。(スイッチの入切や電源プラグの抜き差し等) 火や火花で引火し爆発事故を起こすことがあります。



厳寒期には、器具内の水が凍結し、破損事故が起こることがありますので庭のたまり水などが凍るおそれのある日は、給湯せんから水を流し放しにするが、器具の中の水を抜くなどして凍結を防止してください。

(器具の中の水を抜く方法については、12ページを参照)

●凍結したときは

- ①器具や配管が、破損し、高額な修理費がかかる場合があります。
 - ②凍結したまま使われますと、器具に異常が生じる場合があります。
- 凍結が溶けた後、水もれがないのをご確認の上ご使用ください。

●健浴剤や洗剤についてのご注意

- 硫黄、酸、アルカリを含んだ健浴剤や洗剤は熱交換器が腐食する原因となりますので使用しないでください。

異常時の処置

- ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときはそのままお使いにならず、直ちにご使用を中止(器具せん、ガス元せん閉止)して十分な点検をお願いします。

(故障・異常の見分け方と処置方法については17ページをお読みください)

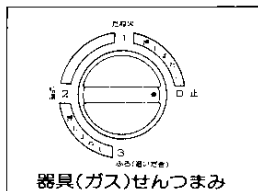
●日常の点検・手入れ

- 器具を安全、快適にお使いいただくために、日常の点検、手入れは必ず行なってください。(詳しくは16ページをお読みください)
- 故障又は破損したと思われるものは使用しないでください。不完全な修理は危険です。
- 万一具合が悪くなって処置に困るような場合は、大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社にご連絡ください。

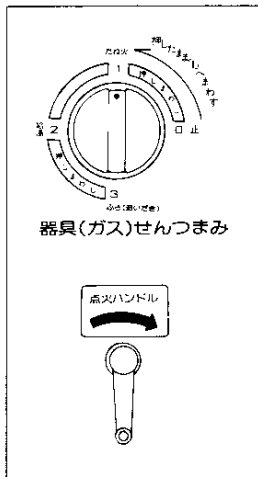
使用手順

(1) 点火前の準備と確認

- 水抜きせんつまみが閉まっているか確認してください。
- 給水元せんを開けてください。



器具(ガス)せんつまみ



器具(ガス)せんつまみ

(2) パイロットの点火

- 器具(ガス)せんつまみが「0」の位置になっているか確認してください。
- ガスの元せんを開けてください。

- 器具(ガス)せんつまみを押し、左へ「1」(たね火)の位置まで回し、押したままで点火ハンドルを右へ回すと点火します。

点火確認窓よりたね火点火の確認をしてください。

〈ご注意〉

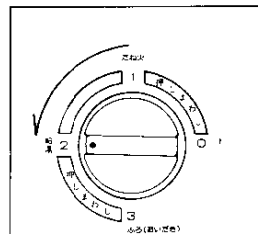
はじめて使用される場合はゴム管等に空気が溜っていますので、1回で点火しない場合があります。この時はたね火が点火するまで器具(ガス)せんつまみを押したままで点火ハンドルを右へ回してください。

- 点火確認後20秒程度器具(ガス)せんつまみを押し続けてください。

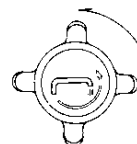
〈ご注意〉

器具(ガス)せんつまみより手を離してもたね火が消えないことを確認してください。たね火が消えた場合はもう一度操作をやり直してください。

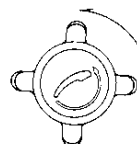
■ はじめに出る湯はぬるく、断続して使用する場合はあついお湯が出ますからはじめのお湯を直接身体にかけないで、湯温が安定してからご使用ください。



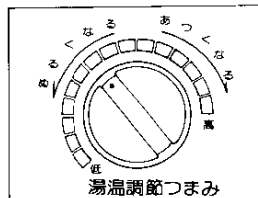
器具(ガス)せんつまみ



出湯管つまみ



シャワーつまみ



湯温調節つまみ

- たね火が点火していることを確認しただうえて器具(ガス)せんつまみを「2」(給湯)の位置に合わせてください。

- 出湯管つまみを左の方向へ止まるまで回すと本火に火がついて出湯管よりお湯が出ます。
- お湯を止めるときは、出湯管つまみをしめてください。(右の方向へ止まるまで回す)本火が消えてたね火のみ残ります。

〈ご注意〉

シャワーだけを使うことができますが、シャワー使用中と同時に湯温を使いますと、シャワーの湯温が変化しますので、なるべく同時使用はさけてください。

- シャワーつまみを左の方向へ止まるまで回すと本火(給湯用メインバーナー)に火がついてシャワーよりお湯が出ます。
- お湯を止めるときは、シャワーつまみをしめてください。(右の方向へ止まるまで回す)本火が消えてたね火のみ残ります。

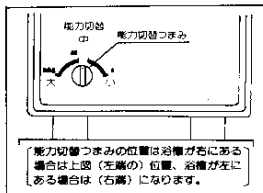
- 湯の温度は湯温調節つまみで調節してください。

湯温調節つまみの●印を左「低」の方へ回すとぬるくなり右「高」の方へ回すとあつくなりま
すから、ゆっくりと少しづつ回し、お好みの湯温に調節してください。

(出湯管つまみやシャワーつまみでは湯温調節はできません。)

■能力切替つまみの使用法

●湯の温度が湯温調節つまみで調節してもあつすぎる時前面下部にある能力切替つまみを「大」から「中」へ合わせてせから湯温調節つまみで調節してください。まだあつすぎる時は能力切替つまみを「小」の位置に合わせてから湯温調節つまみで調節してください。



●湯の温度が湯温調節つまみで調節してもゆるすぎる時、あつすぎる時とは逆に「小」から「中」に「中」から「大」へと切替えて湯温調節つまみで調節してください。

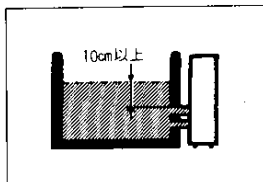
※能力切替つまみは「大」と「中」または「中」と「小」の途中で使用しないでください。

浴そうに給湯した後、お湯の温度がまだぬるい場合は次の要領で風呂を沸かしてください。

浴そうへ水を入れてから沸かす場合は給湯で落とし込むより時間が長くかかります。

■点火のまえに浴そうに水が十分満たされていることを確認してください。

- 浴そうの排水せんは水漏れのないようしっかり差し込んでください。
- 浴そう内の水面が上部循環口の上より10cm以上あることを確認してください。

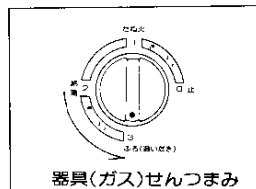


〈ご注意〉

お湯（または水）が少ないと空だき状態となり器具の寿命を短くします。この状態を長く続けますと危険です。水位には特にご注意ください。

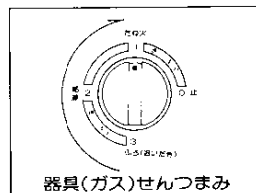
使用手順④

●たね火点火迄の操作は前記「たね火点火」の項をご覧ください。



■本火着火

たね火が点火していることを確認したらうえで器具(ガス)せんつまみを「2」(給湯)から「3」(ふろ)へ止まるまで押し回すと本火(風呂用メインバーナー)に着火します。



■本火消火

お湯が適温になれば器具(ガス)せんつまみを右にまわし「1」(たね火)の位置に戻してください。

※あとで、湯を使う場合は「2」(給湯)の位置に戻しておくことすぐ使用でき便利です。

お風呂とお湯を同時に使う場合

- 風呂用バーナーに着火する方法は前記「お風呂を沸かす場合」の項と同じです。
 - 器具(ガス)せんつまみは「3」(ふろ)の位置で出湯管つまみまたはシャワーつまみをあけてください。
- 風呂を追いだしながら、出湯管またはシャワーの使用ができます。

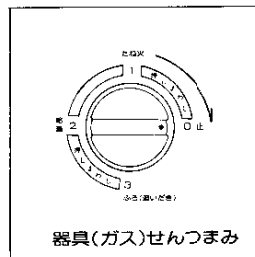
ご使用後

■消火

- 出湯管つまみ、シャワーつまみを確実にしめてください。
- 器具(ガス)せんつまみを「0」の位置に戻すとたね火が消えます。(消火したことを点火確認窓から確かめてください。)

〈ご注意〉

入浴がずんでおやすみになる前、お出かけのときはガスの元せん、水道の元せんも必ずしめてください。



使用手順 ⑤

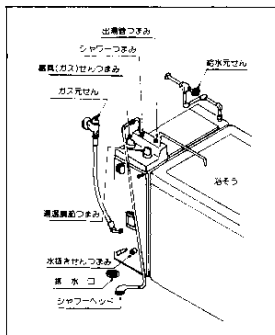
冬期の凍結による湯沸器の破損防止について

冬期は暖かい地域でも給水・給湯配管の水が凍結し、破損事故が起ることがあります。このような事故を防止するため、次のような処置をしてください。

凍結防止法

冬期、冷え込みが厳しく凍結するおそれのある日は、使い終わってから次の要領で必ず水抜きをして、凍結による器具の破損を防止してください。

(入居前や長期不在の場合も同じ操作をしてください)



①器具(ガス)せんつまみを「O」の位置にします。

②ガスの元せんを開めます。

③給水元せんを開めます。

④出湯管つまみ、シャワーつまみ、及び湯温調節つまみを左にとまるところまでまわします。

⑤水抜きせんつまみを左にまわすと、つまみ中央の穴から水が抜けます。

⑥この時シャワーヘッドを、シャワーハンガーからはずし、床に置いてシャワーホース内の水も抜いてください。

●上記①～⑥は次にお使いになるまでそのままにしておいてください。

●入居前や長期不在の場合は①～⑥の操作に加えて、浴そうの水も抜いてください。

※次に使用するときは、各つまみを元の状態にして、一度水を通して水の出ることを確認してから点火してください。

〈凍結したときは……〉

凍結したまま使われますと、器具に異常を生ずる場合があります。凍結が溶けた後、水漏れがないのをご確認のうえ、ご使用ください。

①湯沸器や配管が破損しますと高額の修理費がかかる場合があります。(有償)

②凍結したままでは絶対に使用しないでください。

凍結したまま使われますと、湯沸器に異常が生じる場合があります。

③再使用の場合は、全ての給湯せんから水が出ることを確認し、器具及び配管から水漏れがないことを確認後、8ページ「使用手順」の項以下の操作を行なってください。

〈ご注意〉

●出湯管つまみを絞れば熱い湯、開ければぬるい湯となります。絞り過ぎると(流量が約3ℓ/分以下になると)本火が消火しますので注意してください。

●シャワーヘッドにゴミ等が詰った場合には、シャワー使用中にお湯が出にくくなったり、本火に火がつかない時があります。このような場合には、シャワー吐出口(散水板)を取り外して掃除してください。

●シャワーでは高温出湯しないでください。シャワーヘッドに悪影響をおよぼす場合があります。

●シャワーホースは折り曲げてご使用にならないよう注意してください。

●冬期十分なシャワーがえられないことがあります。

(1)安全装置が作動したときの処置方法

■パイロット安全装置

- 使用中に万一、パイロットバーナーの炎が消えたときには、自動的にガスを止めてしまい、メインバーナーも消えてしまいきますので、そのままでは使用できません。
- パイロットバーナー、又はメインバーナーの消火に気づいたときは、すぐに器具(ガス)せんつまみを「0」の位置に戻してください。

〈ご注意〉

再度点火されるときは器具内に残ったガスが排出されるまで、2～3分待ってから点火操作を行なってください。

■過圧逃し弁(残火安全装置)

- 万一、熱交換器内の圧力が異常に上昇した場合、逃し弁が働き弁圧を下げます。
- この装置が働くと器具の診断が必要ですから、お買い上げの店、またはもよりの大阪ガスサービスショップもしくは大阪ガス支社、サービスステーションにご連絡ください。

■空だき安全装置

- 万一、ふるがまを空だきしたときは、かまの温度上昇をキャッチして、自動的にガスを止めてしまい、バーナーの火を消して事故を防止します。器具(ガス)せんつまみを「0」の位置にもどして15分以上待って(水位を確かめて)から再点火してください。
- うっかり、メインバーナーを消し忘れてお湯が沸騰状態になったときも空だき安全装置が作動することがあります。
- 万一、空だきをした場合は、器具が自然に冷えるのを待ってから熱交換器内の掃除後(16ページお手入れの項参照)浴そうに水を入れ、再点火してください。

〈ご注意〉 空だきは器具の寿命を短くしたり、浴そうをいためたりしますので、空だきしないよう注意してください。

使用時のご注意②

■沸騰防止装置——〈湯沸器側〉

- 使用中に沸騰したお湯が出ると働き、パイロットバーナー・メインバーナーの火を消してしまふことがあります。このままでは冷水が出つづけることになりまますので、いったん給湯せんを閉じて能力切替つまみを「中」または「小」に切り替えてから再点火してください。

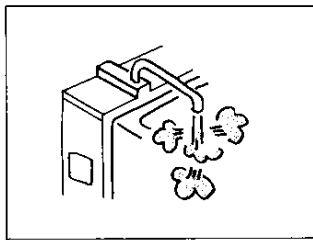
■過熱防止装置(温度ヒューズ)

- 使用中に器具に異常が生じ器具内の温度が異常に上昇したとき、装置が働きガス通路を閉じてメインバーナー、パイロットバーナーの炎が消えます。
- この装置が働くと、部品交換をしないと使用できませんのでお買い上げの店またはもよりの大阪ガスサービスショップもしくは大阪ガス支社、サービスステーションにご連絡ください。

使用時の 重要な注意事項

●あと沸きについて

継続してお使いになるとき、最初に出るお湯は特に熱くなることがありますので、少し出してから、手をふれるようにしてください。



- 給湯せんから水を出しながらの点火操作は危険ですからおやめください。

日常の点検・手入れ

点検・手入れの際のご注意

- 点検・手入れについては、下記の日常の点検以外は大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社に依頼してください。
- 点検で異常を見つけれられたときは、大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社に修理を依頼してください。
- 点検・手入れの前には必ずガス元せんを閉じ、器具が冷えてから行なってください。
- 安全装置及びガスの通路部分は絶対に分解しないでください。

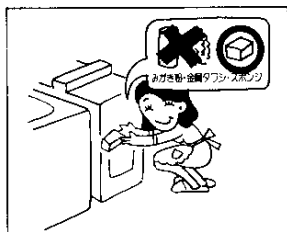
点 検

- 安全にお使いいただくためにときどき点検してください。
- 器具の近くに紙、プラスチック、油類など燃えやすいものを置いてはいけません。

お 手 入 れ

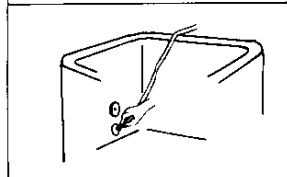
● 外表の掃除

やわらかい布に中性洗剤をひたし、軽く拭いてください。
(タワシやブラシなどでこすらないよう注意してください)



● 熱交換器内の掃除

循環口へ水道のホースの先をつまんで勢いよく水を吹きつけてください。
上・下交互に水洗いしてください。



と
き
ど
き

故障・異常の見分け方と処置方法

ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、直ちにご使用を中止して十分な点検をお願いします。

現象 原因	原因										対策及び 処置方法	参照ページ	
	パイロット 弁の故障	ガス元せん の閉まり	パイロット 弁の閉まり	パイロット 弁の閉まり	パイロット 弁の閉まり	パイロット 弁の閉まり	パイロット 弁の閉まり	パイロット 弁の閉まり	パイロット 弁の閉まり	パイロット 弁の閉まり			
ガス元せんの開き忘れ	○											ガス元せんを全開にする	8
ガス元せんの開き不足	○	○	○	○	○							ガス元せんを全開にする	8
ガス配管中に空気が残っている	○											空気が抜けるまでしばらく空運転をする	8
ノズルつまり	○											*	
くもの巣で燃焼室内が汚まっている	○				○	○	○					*	
器具(ガス)せんの故障	○											*	
器具(ガス)せんつまみの保持不足	○											つまみは短時間の稼働保持する	8
器具(ガス)せんつまみの回し不足	○	○	○	○	○	○	○					つまみは止まるまで確実に回す	8
ガス圧が適切でない	○	○	○	○	○	○	○					*	
パイロット安全装置の故障	○											*	
安全装置の作動												*	
空焚安全装置の作動	○											*	
過熱防止装置の作動												*	
残火安全装置の作動	○											*	
バーナー炎口つまり												*	
給排水トップ内の排気管はずれ												*	
給排水トップまわりに障害物がある												給排水トップまわりの障害物は取り除く	4
器具と浴そうのレベル不良												*	
浴そう水量が多すぎる												「能力表」通りの水量で使用する	
浴そう水量が少ない(湧かしすぎ)												上部溢流口のふたより10mm以上水を入れる	10
器具が漏水した	○											※ (排水レバーの操作)	
水圧が低すぎる												*	
水圧が高すぎる												※ (給水元せんを絞る)	
他の水せん使用による水圧変動												給水元せんを全開にする	8
水がけの故障												*	
給水元せんの開き忘れ												給水元せんを全開にする	8
給水元せんの開き不足												給水元せんを全開にする	8
出湯管つまみの開き不足												出湯管つまみを全開にする	9
給水部フィルターのゴミつまり												*	
泡沫水せんのつまり												内部の泡膜を掃除する	
シャワー吐出口(排水板)のつまり												掃除する	
湯温調節能力切替つまみが適切でない												正しい湯温調節をする	
水抜き忘れ												※ (水抜き操作をする)	

※なお※印のものまたは、処置や原因のわからないときは、ただちに買い求めの販売店、または大阪ガス支社へご連絡ください。

長期間使用しない場合

冬期、長期間に渡って使用しない場合は、器具の水抜きを行なってください。

(器具の中の水を抜く方法については12ページをお読みください)

アフターサービスのお申し込み

サービスのお申し込み

- 17ページ「故障・異常の見分け方と処置方法」の項を見て、もう一度ご確認ください。
- 確認のうえ、それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合はご自分で修理なさらないでお買い上げの店またはもよりの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社、サービスステーションにご連絡ください。なお、ご連絡いただくときは、次のことをお知らせください。

① 品 名……(ガスバランス型外だし釜)

② 品 番……ガス接続口の近くに貼付してあります。

(例) **(4)31-870(U)**

大阪ガス株式会社 04

③ 現 象……(できるだけ詳しく)

④ 道 順……(できるだけ詳しく)

転居される場合

- ガスには都市ガス14種類およびLPガスの区分があります。ガスの種類が異なる地域へ転居される場合は、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認のうえ、大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社にご相談ください。この場合調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

保証書について

- この器具には保証書がついています。このガスバランス型外だし釜は保証書に記載のように、器具の故障について修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

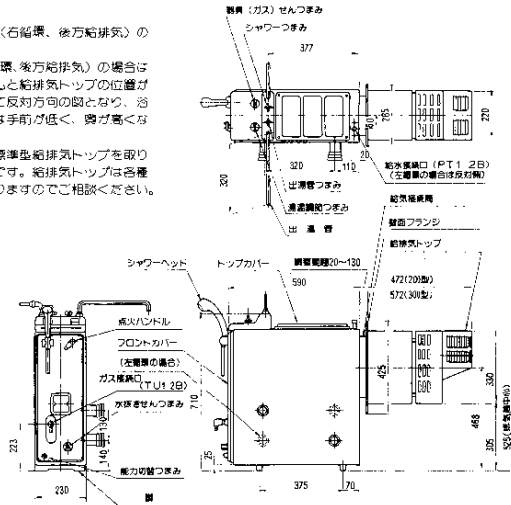
特 長

- 1 年間を通じて洗髪、上り湯に使用できる6号シャワー機能付風呂釜です。
- 2 コンパクト設計 横幅230mm、取替え、シャワー化に、スペースの心配はありません。
- 3 快適シャワーが使えます。
夏場で10.3ℓ/分のシャワー能力があります。
- 4 季節や用途に応じて使い分けできる能力3段切替装置付です。
(能力大6.2号 能力中4.1号 能力小2号)

寸法図と仕様一覧表

*図面は870型(右循環、後方給排水)の場合です。
871型(左循環、後方給排水)の場合は浴槽連結ゴムと給排水トッポの位置が上面から見て反対方向の図となり、浴槽連結ゴムは手前が低く、奥が高くなります。

外壁設置の標準色給排水トッポを取り付けた一桁です。給排水トッポは各種用意しておりますのでご相談ください。

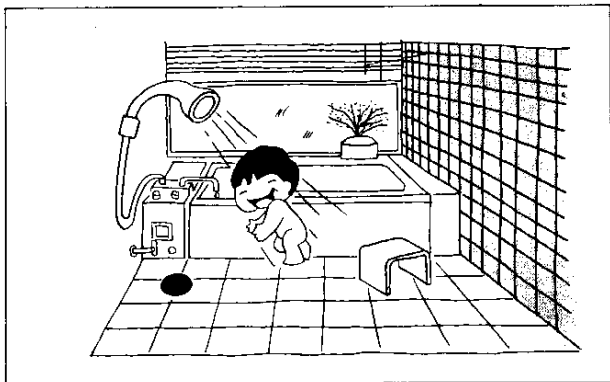


寸法図と仕様一覧表

仕様一覧表

項 目	種 別	31-870 871型・31-872 873型	
		都市ガス6C	都市ガス13A
最大ガス消費量 m ³ /h	給湯	2.84	1.15
	風呂	1.99	0.80
	同時使用	4.83	1.95
外形寸法 (mm)		高さ710×幅230×奥行590	
重 量 (kg)		28	
接 続	ガ ス	TU 1/2B (15A)	
	給 水	PT 1/2B (15A)	
点 火 方 式		圧電式点火	
安 全 装 置		パイロット安全装置、空だき安全装置 過熱防止装置、過圧逃し弁(残火安全装置) 沸騰防止装置	

本製品と快適なくらしのために



清潔なシャワーで爽快に！

夏場はシャワーで汗を流せます。そしてお風呂からの上り湯も、清潔なお湯で気分さわやかに。

おねがい

ガスくさいときは、お部屋の元せんを閉め、窓を全開してから（火気に注意して）大阪ガス支社、サービスステーションにご連絡ください。

本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

本社ガスビルサービスセンター	☎541	大阪市東区平野町5丁目1	☎大阪06(202)2221
南支社	☎557	大阪市西成区玉出東2丁目9番41号	☎大阪06(652)0001
北支社	☎532	大阪市淀川区十三丁目6番35号	☎大阪06(301)1251
堺支社	☎590	堺市生野橋町2丁目2番19号	☎堺0722(38)1131
北摂支社	☎569	高槻市藤の里3-9-6	☎高槻0726(71)0361
阪神支社	☎662	西宮市和上町4番11号	☎西宮0798(26)3101
東園支社	☎578	東大阪市瑞葉2丁目3番17号	☎河内0729(82)1131
京阪支社	☎573	枚方市西宮町1番17号	☎枚方0720(41)1251
神戸支社	☎650	神戸市中央区相生町5丁目13番10号	☎神戸078(576)5231
京都支社	☎604	京都市中央区舟形町北極屋町3番8	☎京都075(231)8151
奈良支社	☎631	奈良市学園北2丁目4番1号	☎奈良0742(44)1111
和歌山支社	☎640	和歌山市本町1丁目1番1号	☎和歌山0734(31)2481
姫路支社	☎670	姫路市神屋町4丁目8	☎姫路0792(85)2221
粟津支社	☎675	加古川市加古川町粟津2-9-1	☎加古川0794(21)1801
豊岡支社	☎668	豊岡市三坂町8丁目57番地	☎豊岡0796(3)2221
湖南支社	☎525	岸和田市島分町字荒船6-3-0の1	☎岸津0775(62)5311
彦根支社	☎522	彦根市大東町12番11号	☎彦根0749(22)3131
（長浜営業所）	☎526	長浜市栗原町3番4号	☎長浜07496(2)7171

その他当社サービスステーション、およびサービスショップ、風呂販売店

大阪ガス株式会社